【グループワーク（Bグループ）】

（コーディネーター 前田 氏）

一つ約束してください。新嵐山について色々なことを勉強してきて、難しい話をしたくなると思う。気を付けてほしいのは、難しい話をするのであれば大学の先生などに来てもらえば良いのであって、みなさんが選ばれた理由は、芽室町で生活しているから。芽室町に税金を納めているから選ばれたのです。

新嵐山をプロフェッショナルな立場で考えるなら、違う方に聞くことを前提に、生活者視点で意見を出してください。新嵐山に興味がない人は、興味がないないので、全く利用したことがないと正直におっしゃってもらって構いません。最初にみなさんが思っていることが４回の会議でどう変わっていくのか、お互いに対話をしながら進めていきたい。

それでは自己紹介（名前・地域・芽室歴・利用歴）をお願いします。

（委員１）

・東めむろに住んでいる。

・芽室に住んで８年目になる。

・一昨年からシーズン券を買って、週２回から６回運動がてら利用している。良いスキー場だと思う。

夏に展望台まで登ろうとしたら木道が荒れていて、こわかった。展望台まで登ってみると、京都の嵐山のように紅葉がきれいなのか、桜がきれいなのか、ただ眺めが良いというだけで、登ってがっかりという感じ。

エリア内の川沿いのオオバナエンレイソウはすごくきれいである。

（委員２）

・国道の北側に住んでいる。

・芽室に住んで８年になる。

・３０代の頃は良くナイターに来ていた。３年前くらいから週２・３回スキーを滑りに来ている。夏は山登りに来ている。頂上から３６０度ぐるっと見渡せる場所は、なかなか無いので非常に気に入っている。

（委員３）

・東めむろに住んでいる。

・芽室歴は延べ５年、転勤族で色々な地域を回っている。

・初めてスキーをしたのもメムロスキー場でお風呂にも来ている。子ども会や職場の関係で年間４～５回は来ている。すごく親しみを感じている。

　色んな意味でうまく活用していきたいなって思うし、それを使っていくのは私たち、町民が何とかしなければという気持ちである。

（委員４）

・芽室歴は２０年。

・子どもが小さい頃はよく来ていた。今は大型犬を飼っているので良く来ている。

違う地域の人がキャンプに来た時に新嵐山だけでなく、近くに道の駅みたいなのがあったり、ここだけではなく、もう１・２箇所寄る楽しみがあるとわざわざ行きたくなる人がいるのではと感じている。

（委員５）

・芽室生まれ。

・子どもが小さい頃は来ていた。ドッグランがあるが、以前に小型犬を飼っていて、その頃あれば利用していたと思う。

ホームページを見て、色んなものがあっていいなと思う反面、自分が利用するにあたって何を楽しめるかと思った時に、そういうのが生かせれば良いかなと思った。

（委員６）

・南ヶ丘に住んでいる。

・３歳のころからスキーをやっていた。スキー場は上達すると物足りない。慣れている人だと札幌など遠くのリゾートと比較してしまうが、別の売り方ができればと考えている。

（委員７）

・東めむろに住んでいる。大学の時に芽室を離れただけ。

・学校行事で利用したことしかない。何もない場所という印象である。今回、ホームページを見て、色々とやっていることを初めて知った。PR不足もあるのではないか。

（委員８）

・小学３年生の時に転校してきて高校まで１０年くらい居て、昨年芽室に戻ってきた。

・小学校の時にスキー学習で利用したことがある。グランピングのことは初めて知った。夏にゲレンデで牛を放牧しているのは面白い。

（委員９）

・東めむろに住んでいて、犬がいる。

・ドッグランや入浴施設など色んな物がある場所は珍しく、結構新しくて良い場所という印象は強い反面、わんぱく広場など自作感が強い場所なので子どもを遊ばせるにはちょっと危険が多いと感じている。改善の余地があるのではと思う。

（委員１０）

・ダイイチの近くに住んでいる。高校まで芽室に住んでいて、１０年前に帰ってきた。

・小学校のスキー学習で利用していた。芽室に戻ってから子どもがスキー学校に通っていた。５年ぐらいパトロールのお手伝いをしていた。

・新嵐山には小さい頃から思い出がある。キャンプは虫が嫌いなので行っていない。

・気候変動のせいでBコースがオープンできない期間がある。

（委員１１）

・上美生に住んでいて、転職で今年の９月から芽室に住んでいる。

・新嵐山には車で展望台に登ってみた。資源が豊かな印象があり、可能性は色々あると感じている。

（委員１２）

・芽室町で生まれ、子どもの頃からスキーに来ていた。旧オートキャンプ場は利用していたが、今はオートキャンプできないのでちょっと使いづらいと思っている。オートキャンプ場が再開できればと思っているが難しいか。

・スキーをやらなくなって２０年くらい経つが、施設の老朽化は理解するが、費用対効果を得るのは難しいのかなと思っている。

（コーディネーター 前田 氏）

・昔から芽室町に住んでいる人にとって、新嵐山は小さな頃から大切な施設なんだと伝わってきた。

・スキー場というキーワードがものすごく出てきた。スキー場がなくなったら新嵐山ではないという感覚なのか。

（委員自由発言）

・姉が広島に嫁いで何十年も経つが、毎年スキーに来ている。横浜の友達も毎年スキーに来ている。スキー場が無くなると姉や友達に会えなくなる。

・子どもの頃から、そりを担いで遊んだ思い出とともに新嵐山がある。

・町から近いというのが良い。

・自分がやっていたことを子どもにも経験させたい。

（コーディネーター 前田 氏）

・ここの風土や歴史とか、体の一部に新嵐山のスキー場というのがあることがわかった。

・昔のことは教えてもらったが、今も芽室町民のDNAには町から遠いが自分たちの施設という思いはあるのか。

（委員自由発言）

・ドッグランしか利用していないが、帯広などからも来るくらい利用者は多い。犬を飼う前は夏に利用したことはなかった。

（コーディネーター 前田 氏）

・以前の新嵐山の夏のイメージは。

（委員自由発言）

・産業観光まつりでにぎわっていたイメージ。ここが拠点で産業系のイベントもあったが、街の中に変更された。

・パラグライダーに乗った場所というイメージ。

（コーディネーター 前田 氏）

・みなさんにとって、大事な施設であることがわかった。

（委員自由発言）

・新しくワイナリーもできた。昔はこうだったのではなく、新しいことに目を向けても良いのでは。

・ここを拠点にして、どこかに行けたら良いのではないか。

・ちょっと時間ができたら、上士幌や士幌の方に行くことが多い。行きたい理由が１か所ではなく、いくつかあれば、わざわざ出向きたい理由になると思う。ここだけではちょっと弱いのかなと思う。

（コーディネーター 前田 氏）

・十勝には芽室町以外にも色々と良いところがあるが、新嵐山を拠点にして活用頻度を上げるにはどうしたら良いか。情報発信も含めて。

（委員自由発言）

・スキーのイメージしかなかった。ワイナリーやドッグランがあることも全然知らなかった。

・昔のスキー学習の時のイメージしかなくて、入ってみたらレストランもしっかりしているとわかったが、そういう事も知らなかった。

・情報発信の中で、行きたいと思えるような工夫をすれば、ユーザーも増えるのではないかと思った。

・外からみた新嵐山を周りの人に聞いてみたが、厳しい意見が多かった。施設にこれ以上投資して何が得られるのか。芽室町は観光が弱い。スキー場が観光になれるのか。新嵐山の情報は黙っていても入ってこない。

・スカイパークになったことも知らなかった。検索しても嵐山では出てこない、新嵐山でないとダメ。芽室町には見どころがなく、他町と天秤にかけると弱い。芽室町はイベントが多く

お祭りをやっているイメージが多い。

・お店で新嵐山のイベントチラシを見たことがある。キッチンカーなど毎週イベントをやっているイメージがある。

・町にお金を落としてくれる関係人口も大事だと思う。

（コーディネーター 前田 氏）

・自分たちの周りから聞く新嵐山のネガティブな話ってどんなことか。

（委員自由発言）

・来てくれる人は良いイメージの人が多い。良くない評判は仲間から聞くネガティブなものである。

・夏の売りは展望台であるが、展望台が汚い。

・車で行くと道が狭くて怖い。

（コーディネーター 前田 氏）

・観光はだれのためにやるのか。みなさんが誇りに思うからやるのか、外貨を稼いでその外貨を町民に還元して生活を豊かにするためにやるのか、観光の議論をする際に必ず行きつく話であり、今後議論していきたい。

・条例には、健康の増進とあるが、みなさんはそれを意識して使っているか。

（委員自由発言）

・趣味や観光の場所としてあるのは良いが、健康増進は意識していない。

（コーディネーター 前田 氏）

・目的からずれているのであれば、その目的に沿うような形にするか、あるいは、その目的が時代にそぐわなくなっていると伝えるかをしていかなければならないと思う。

・使い勝手が悪くなったという説明があったが、どういう意味か。

（委員自由発言）

・変わる前はお弁当を頼んで配達してくれた。今はやめていると思っていた。

・17時くらいに夕ご飯を食べに来たらレストランが閉まっていた。

・お風呂に手すりがなく、高齢者には危険。町内に大浴場があるところがなく、新嵐山に来るのが楽しみだった。もう少し充実してほしい。

（コーディネーター 前田 氏）

・芽室町の観光資源として新嵐山はどうあるべきか、活用計画に位置付けられているが、再度議論したい。

・町民にとっての位置づけ（健康増進）も目的そのものが時代にずれているという話もあったので再度整理したい。

以上



